

保育鼎談

お茶の水女子大學教授
本誌協力委員
波多野完治
文部省調査普及局文部
事務官本誌協力委員
多田鐵雄
本誌主幹
倉橋惣三

日時 十一月八日
場所 フレーベル館

倉橋 きよりはお忙がしいところワザ／＼
どうもありがとう御座いました。きよりの
話題というものは別にこれといつて決まっ
ているわけではない。波多野さんが先達ア
メリカに行かれて教育關係の色々なもの
を見てこられたと思うが、その新しいところ
をモトにして、日本の幼稚園というものを
考えてみたい。又多田さんは、日本の幼稚
園については長い経験と共に廣い調査から
くわしく實狀に通じていられる、そのおふ
たりを組みあわせていたゞいたら、必ず有
益のことを伺える、マア、そんなところで
話をすゝめてゆきましよう。

まづ波多野さん、向りの幼稚園を見てこ
られた大よその感想といつたものを一つ、

アメリカの幼稚園制度

—— 小學校と幼稚園 ——

波多野 向りに行つて廻つて見て色々感ず
る事が多いのですが、大體向りの幼稚園は
小學校に附設された幼稚園が本體である。
獨立したものは少ないようです。日本でも
小學校附屬の幼稚園というものがあつたが、
それが本體というわけではない。日本は獨
立が本體であると思ひます。これは幼稚園
というものゝ在り方に、また本質にもいろ

／＼大切な關係をもつことになると思つて
第一に考えさせられて來ました。この問題
はどう——(倉橋氏の方を向いて)——お考
えになつていますか。

倉橋 それは前からもある問題ですがね。
實際としてはどうしたら最もよく實狀にそ
うかということになるではないでしようか
丁度、こないだのアメリカ第二次教育使節
團の提言には「幼稚園を小學校のパートと
して設置すべきである」ということがいわ
れている。そのパートというのは一體どう
いう意味を含むものか。特に設置といつて
あるのだから單に教育のシステムの中心に入

れるという意味ではあるまい……。ですが今の我國として獨立設置がいゝか、合併設置がいゝかということは、どつちにしたら現状によく合ふかということに關係するでしょう。合併設置がいゝとしても、今日の日本でそれを實行するにどんな難點があるか。

多田 波多野さんは向うでどんなところを見てくれましたか。

波多野 ワシントン、ニューヨーク、シラキウス、インディアナ、シカゴ、カリフォルニアといったところを廻りました。

多田 我々がアメリカの幼稚園というものを考える時、一言でアメリカの幼稚園はこうだと片づけられないものがあるように思うのですが。東と西、南と北という風に地域的にずい分違いがありませんか。例えば教員の俸給なんかの統計をみても、州によつて違つている。その他の點でも地域的にずい分違いがあるでしょうね。そういう點は實際どうでしょうが。それから先刻お話をバートンという點についてですが、アメリカで幼稚園を小學校に附設さしているのは、管理という問題、科學的管理——特に

經濟的な問題とも關係があるのではないですか。この經濟的管理ということでは、カリフォルニアあたりでは、幼稚園は二部制をとつているが、これはアメリカの子供は五時間も六時間もつゞけて、幼稚園におくことは困難だ。せいゝ二三時間位、そうすると、あとの時間が空いて無駄になる。そこで二部制ということになつたと思うのですが、こういつた風に、條件によつて制約されたものもあるのじやありませんか。

倉橋 今の問題はいろゝゝな關係があると思うが、多田さんの今いわれたことは、カリフォルニアだけぢやないでせう。

波多野 ニューヨークの郊外でもそうだし、シラキウスでも、又シカゴでもそうです。向うでは大體通念になつているといつていゝでしょう。

義務制について

倉橋 小學校と幼稚園が別々なのが普通だつた頃から、それをくつつけるべきだといふ考え方で「キンダーガルテン・エント・プライマリー・グレード」といつて、幼稚

園と低學年とをいつしよに設置する主張も實際にアメリカにありましたね。ところで幼稚園といへば施設として考えられることが一般だが、方法の名——キンダーガルテン・メソッドとして考えられることもある方法としては、幼稚園と低學年の連絡が問題になつて來るがバートンならば連絡問題はない譯になります。それから今、幼稚園の「義務制」とか「準義務制」とかいはわっているが、僕は使節團の勸告は、あゝいふ言

い方をして、「義務制」にもつて行く道をつけているものとも思う。

波多野さん、向うの幼稚園の大きさはどの位のもんです。

波多野 一年生と同じだと思ひますね、五十八位、あるいはそれ以上。先生は大體一人に二五、六人受持つ程度の制です。それから今お話が出ました「義務制」ということなんです。日本の場合にはこれは相當問題ぢやないかと思ひますね。戦争中に、軍閥の強制的な教育方針に對して、教育の原理から最もつよい反撥をしたのは、幼稚園側でした。これは日本教育史上非常に注目すべき事だと思ふんです。そんなことを考

えても、今、幼稚園を義務制ということにして、それが小學校なり何なりの中に併合されるということになると、小學校長の管理の下におかれることになる。そうすると「新教育」の流れというものが、それによつて果たして發展するか、どうか大いに疑問だと思ふのです。

倉橋 これは重大な問題ですね。そうしますと波多野さんの考えとしては、幼稚園は幼稚園として獨立に設置されている方がいいことになりませんが、どうでしょうかね。

多田 その通りだと思ひますね。日本の現在の状態では、幼稚園は制度としても未發達の状態にあります、これは全國における幼稚園の分布状態を見てもわかると思ふ。こういう未發達の制度にあるものを取扱うには特別の考慮が必要です。小學校にクツつけてもいい。そのパートという意味でない限りで、……と考へます。

倉橋 現に公立小學校の中にある幼稚園は澤山ありますね。

多田 そういふこともある反面、六三制度のために幼稚園が犠牲になつてゐる所が

ずい分あります。

波多野 そこで實際案としては、新しくつくるところでは「パート」としてつくる。しかし今までもあるものには特殊の意義を認める。

日本社會の特殊性と

幼稚園の在り方

多田 日本の幼稚園は制度として未發達のためもあり、幼稚園の性格というものは確立が充分出來ていない。そこが向うの幼稚園とちがうことじゃないですか。日本の幼稚園はその性格として、保育所と混淆状態にある。一應は幼稚園と保育所とは別の性格をもつ建前になつてゐるけれど、實際にはそう嚴密にそれを貫徹するものではない。そこに幼稚園保育所一元化論の根據もあるわけですが、こうした問題がある限り、幼稚園を小學校のパートとしても、保育所がある。これをどうするか。

倉橋 多田さんの意見としては、幼稚園は今の社會的使命を果たす上からいつて、すなわち現状に即しては、パートとならん方がいいというお考ですね。

多田 先ず幼稚園というものは性格をハッキリさせる事が必要ですね。重要産業には補助金を出しているが、大切な幼稚園教育のためには補助金を出さうとはせぬ。教員の給料の問題だつてそうだ。小學校は國庫負擔、幼稚園は市町村負擔、何でもそうだ。そこで私はこれは規定で決めるべきものぢやないと思ひますね。先にすゝむものはアメリカ風にやつたらいい、一般的議論としては教育科學的な見地からの研究がもつと必要です。アメリカのナーセリー・スクール——キンダーガルテン——ブライマリ・スクールという系列の各々の在り方を日本の實状について、研究しないで、結論はむづかしいでしょう。第一、六三制というのがまだ確立してゐない。先ずこれがもつと年月をかけて充實したものになるのが第一です。

倉橋 アメリカにははパートになつてゐる幼稚園もあるのですか。

波多野 サア、幼稚園だけが獨立したものは一つも見ませんでしたか……

波多野 それから此の問題の一つはアメリカの家庭生活と日本のそれとのちがいにあ

ると思いますね。日本の家庭においては、母親が時間的に又精神的に子供の面倒をみてやる餘裕が非常に少ないのです。アメリカではそれが充分ある。そこで原則としてアメリカでは子供をソウ長い時間幼稚園においておく必要がないという考えが成立つ日本では、極く下の方の階層の家庭にそういふ餘裕がないことはわかっていますが、かなり上の方へ行つても、家庭教育の補いを幼稚園につけてもらいたいという考えが支配的だ。日本の主婦の過重負擔ということを考えると、アメリカのように短いのは考えものです。

經費の問題

多田 制度上パートになるならんにせよ、我國の幼稚園の在り方は、これでいゝといふわけでありませぬ。これでは困るといふ點もあるでせう。例えば先刻の素質の問題なんかどうですか。私の見たところでは本當に幼稚園の先生として適格性をもつてゐる人は、十人の中三人位しかいない。あとは空しく努力しているという感じです。

だから新しい教育原理の講義などは大いに熱心に聞くけれども、それを木當に生かすという點になるとどうかと思ふ人もある。こんな事で、パートになるといふ場合困る人もあるでしょう。

倉橋 ミツシヨンは小學校を教えることが出来る位の人が幼稚園の先生である事を希望している。そうなつたらこの問題も解決が早くなる。

多田 素質の問題は、經費の問題とも關係します。國や自治體で出してゐる費用は、小學校の方は兒童一人當り年四四一三圓、幼稚園は三五九〇圓、大分ちがいます。待てがわるいからいゝ人があつたらぬということもあります。

倉橋 波多野さん。アメリカの幼稚園と日本の幼稚園で一見して違ふと思はれる點は……。

波多野 各部屋にトイレットがついてゐる幼稚園の場合には、これは大切なことですがね。

多田 もう一つパート問題ですがね。パートというのは理想的かも知れない。しかしこれは輸送の問題を解決しなくちゃ。スク

ール・パスの問題が完全にならなけりや。通學距離を短かくするといふ配慮がなけりやどうにもなりません。

アメリカの幼稚園の

保育の實際

倉橋 波多野さん。設備の外にですね。向うの幼稚園を見られて、實質的にこれは日本の幼稚園と大分ちがうなと思ふような點、アメリカ人風にいへば、ワンダーフルと思われた點——それについても小さいことは色々ありますが、これは單に程度上のちがいで、本質的に違ふと思はれることがありましたか。

波多野 中學校、高等學校の場合には、これは桁がちがうという感じがしましたね。しかし幼稚園の場合には、これはとてもかかわんという感じがしませんでした。日本の幼稚園も大抵この邊までは行つてゐるといふ感じですよ。設備の點については勿論大いに改善の餘地はありますがね。

倉橋 精神においては劣つてない。根本的に考え直さねばならぬとする點があまりないといふ譯ですか。

波多野 それからこれは小さいことですが

日本の幼稚園とちがうと思つたのは、先生のお話を幼児らが座つて聞いていることですね、お話の時は保育室の床にすわつています。その他にもすわつてゐる場合がかなり多いですね。

倉橋 そういうとき、銘々が小さいわらの圓座を使いますね。圓座がなくても床がきれいですが。ところで向うで、椅子から下りて座らせるというころもちは、どういふところにあるのでしょうか。

波多野 つまり一言にしていえば、日本の子供はあまりに行儀よくさせられすぎていふところからぢやありませんか。そういふ觀念から見ると、向うで座むるというところがこつちとは逆ですからな。

倉橋 向うで椅子から下りるといふことがどうしていふことなのか、それをハツキリさせないと、——日本流には座むるということは行儀をよくすることだからな。

座むるといふ

ことの意味

多田 私の園では小さい子供は塵の部屋においであります。子供は座むるといふのが

ナチュラルではないか。結局、向うで椅子から下りるといふのは、向うでも小さい子供は絨氈とか、ソファの上とか又、隣なんかに座むつてゐることの方が多ぢやないか、そんなことなんでしょう。

倉橋 田舎のバスが汽車に乗つても、シートの上に座むるといふようなものかなそれがナチュラルなんです。同時に、お話の場合なんか親し味の感じがするでしょう。それから波多野さん、私がアメリカに行つたのはずいぶん古い話だけれど、あちらの幼稚園は自由の中でも、キチンキチンと秩序つけられてゐるよふに思つた。そういつた點はどうですか。今もそういう風ですか。

波多野 サア、ゆつくり見ないからヨクわかりませんがね。

倉橋 先生のプランと、子供が自分の心でやる中に調和がとれてゐる。形の上だけを見ると何かルーズみたいで、しかもだらしなくない。

倉橋 向うの設備はいふですね。

波多野 しかしお茶の水位になりや差はありませんよ。たゞ向うではチャンと粹のつ

いた子供が取扱えるよふな建築材料があつて、それを保育に使うんですね、實際に子供の家がそれで出来るよふになつてゐる。子供の乗れる汽車もある。

多田 大正幼稚園では本物のトロツコをそのまゝ、勿論レールをしいてですが、それを持つて来た。そういうこともあります。

波多野 ネテジが各教室にある。人形芝居なんかそこでやるんですね、日本の保育室にはないよふだ。それからこれは大學附屬の幼稚園の話ですが、観察室があるんですね、保育室の裏側の方に、子供からは見えないが、ワン・ウェイ・スクリーンをつくつて、教生だとか研究者がそこから見ることが出来るよふになつてゐる。

倉橋 それはお茶の水にもある。ところでアメリカの幼稚園に何を學ぶかの問題ですがね。

アメリカの幼稚園

に何をまなぶ

多田 日本の幼稚園は脱皮せねばならぬところが多々ある。何といつても昔の型式主義がまだある。

倉橋 日本は幼稚園には差が大きい。施設も實にマチ／＼です。子供の幸福の公平という點からいつても重大問題だ。そこで波多野さん、アメリカの幼稚園教育で最も重きをおいている點は……

波多野 それはこういうことぢやありませんか。それはこういふことぢやありませんか。アメリカの幼稚園の保育方針というのは、根本はセキユリテイ（安全感）Security ということです。躰けはおのづから生れてくる。そして「しつけ」というと劣等感が生まれてくる、という點は日本の行き方と違ふ點ぢやないかと思ふ。

倉橋 そのセキユリテイというのをもちつとくわしく話して下さい。

波多野 セキユリテイというのは安全、安心という種の意味でしよすが、セーフテイというのとちがう。何といひますか、自分というものを完全に發揮して社會に十分貢獻することが出来るようにするために、自分のやることに自信がなければいけない。その基礎になる心構えというか、心理的態度というが、そういうた意味合いのことなんです。このセキユリテイの問題は、年齢がすゝめばあまり問題にする必要

はない。自我の獨立ということが出来上りますからね。小さい中は困るんです。このセキユリテイをもたないと、しよつちゆうおどおどしていることになる。それでは困るといふんです。安全といつても自分の安全を守る教育というのとはちがう。例えば電車なら電車に對して、單にセーフテイといふだけのことなら、電車は危いから近

よつてはいかんという風に教へればいゝかも知れないが、しかしそれではセキユリテイが形成されない。電車はこういうものでこういふ場合は危いものだが、そうでない時は危険なものでないといふ風に教へて、電車に對して自信をもたせるようにする。

これがセキユリテイです。それから幼兒の要求というものについても、これを欲求と本當の要求とにわけて考へて取扱う。例へば菓子なんかの場合、實は腹がくちくて本當は喰いたくないにもかゝらず、眼で見ることによつてある種の食欲に似たものがおこる時がある。そういう欲求はおさえてやる方が正しいといふ考へ方なんです。又、要求には生理的なものと、社會的人格的なものがあるが、ある場合には生理的な

ものを抑えてやる方が、却つて社會的人格的なものを充たす所以であるといふような考へ方、そういうたものがセキユリテイです。これがアメリカの保育思想の根本になつてゐる。こういう理屈は參照しただけではわからぬ、本をよまねばわかりませんが。

文字を教へることの可否

倉橋 保育のための具體的實際としては……

波多野 保母が幼兒に對していつても落ちついてユツクリ物をいうこと。さわがしく動かぬこと、だから保育室の感じが全體的に和やかで靜です。これはセキユリテイの養成に關係があると思ふ。心が充ち足りてゐるから靜かになつておられるぢやないですか。

倉橋 そういう保育でも discipline ディシプリン(躰け)といふものはありまじしよ。

波多野 それはあります。

倉橋 しつけといつても禁止的なものぢやないでしよ。

波多野 それはありません。

倉橋 菓子がいくたくなるといふことはよ

い。しかしそれを喰つたら叱られるという考え方をさせるのはわるい——つまりそういったことですね。

波多野 子供は適當に甘えたいという時もあります。それを察してやる事が大切です。

倉橋 日本ちやそいいつた點はあまり考えないよ。りだ。

多田 波多野さん、幼稚園で文字をおしえることによしあしですがね。日本では大體敬えなくてもいよということになつてはいるけれど、向うはどうなんです。

波多野 文字は教えているようです。しかし響けるということを主眼にしていない。字をかいた札をもつて掛けておしえている。讀めるように導いてやるんです。しかし無理に教えるということはないようです。自然に要求が出て來たら、それをみちびいてやるという風です。

幼稚園の視覚教育

倉橋 波多野さんの視察の主目的は視覚教育にあつたのでしょうか。澤山觀られたでしょうが、幼稚園ではどうです。

波多野 そうですね。幼稚園で使つてゐる幻燈と映畫を見ましたが、映畫は小學校で使うものと、幼稚園で使うものとはちがう幼稚園で使う映畫は教えるということを狙としない。見ていてたのしいということを目目とする。動物がおおいですね。動物の生態を主として、大體皆色彩映畫です。内容は劇的な構成をとつてゐる。年長になると、必ずしもドラマチックということに拘泥しませんが、下の方は非常にドラマチックな構成をとる。これは大きな特色です。私が見たものにこういふのがあつた——

三人の子供がいる。それが母親のために誕生日が何かのお祝でしようが、金儲けをする話が出てゐる。一人の子供は煙突掃除をやつた。他の子供は花を買つたり、もう一人はペンキ塗りの手傳をやつた、ところが面白いのは、煙突掃除をやつた子供が、眞黒になつて出てくる。すると「この色は何色でしょう」といふ問いが出る。又、ペンキ屋をやつた子供は、紅なら紅をぬるといふ工合にして色をおしえる。——これは面白いと思ひました。

色彩は非常にやわらかです。一昔前の繪本を見るとわかるけれども、あまりにリアリステイツク(現實的)といふことを追いつぎ、何か固くなるしくなつてゐる。今日は少し位デフォルム(變形)されていよから、出来るだけやわらかい色調を使うといふことになつてゐるようです。

倉橋 總覺教育の方はどうです。

波多野 あまりきよまませんでした。しかしおそく何枚かの映畫を見せて、同時に音をかかせて視覺との關連においてやつてゐるだらうと思ひます。

倉橋 漫畫はどうなんです。

波多野 あまり問題はないと思ひ。漫畫は上の方、年令の高い方には非常に関連があるが、幼兒には左程でもありません。

倉橋 いろ／＼とアメリカ幼稚園の話聞くことが出來て實にたのしかつたですが、最後に、これは保育とは關係のない事だけれど、アメリカ視察において一番感心したことは——

波多野 サア、何だらうかな。おどろいたのは鏡ですよ。向うから人がやつてくる。よくみるとそれが自分なんだ。實にハキッ

リとよく映る。おどろいたな。(笑)
倉橋 鏡を感心したというのは何か變だ
たのしかつたのは——
波多野 やつぱり喰い物でしたな。(笑)

倉橋 アメリカ人はどうです。
波多野 全体として非常にホスピタリ
ティをもっている。一言にして實にいふ印象を
與えられてたのしかつたといえる。

倉橋 どうもいろいろとありがとう御座い
ました。

(記録責任者 西山浪太郎)

評

酒田 富 治著

『幼児に聞かせる音楽』

書

フレーベル館 發行
B6二〇二頁 定價一五〇圓

著者酒田氏はながいあいだ幼児や兒童の
音楽指導の實際にあたつて來られた先達であ
り、東京都の高等保育学院で保育の養成に
も關係して居られる、そしてその多年の經
験と蘊蓄によつて、文部省の「幼児のため
の音楽リズムの本」の作製の委員會の委員
としてもずつとつづくして來られた方である
いままでの幼児の音楽教育に於てはただ
歌うことだけが中心になつていて、ほんと
の音楽教育が行われていなかつたことは、
いままでもたび／＼指摘されたことである
だから新しい「保育要項」において昔の保
育項目の唱歌という言葉が無くなり、保育

内容としては音楽が入れられた。そして、
歌うことだけでなく弾くこととならんで、
きくこと、が重要視されるようになった。
實に聞くことは音楽教育の第一歩である
いつてよい。所が聞かせるには幼児に適す
る音楽を聞かせることが大切であり、また
聞かせるための扱い方が大切である。この
意味で保育要領には、幼児のための鑑賞レ
コードがのせられ、聞かせ方の根本方針に
ついて述べてある。また今度出ることにな
つている文部省の「幼児のための音楽とリ
ズムの本」にも聞かせ方についていろいろ／＼
のことが詳しく述べられているわけである

酒田氏のこの著は、このように大切な意
味を持つている幼児に聞かせる音楽につい
て、我が國においてはじめてものされた書
物である。育児と音楽、聞くことを好まぬ
子等、幼児の音楽の聞き方、心理に即した
音楽教育、音楽を聞く機會、家庭での音楽
の聞かせ方、幼稚園、保育所での音楽のき
かせ方、レコードの選び方、レコードのわ
け方の九章にわたつて實に詳しく具體的に
實際に即して述べられて居り、最後に聞か
せ方のいろいろな例として、文部省制定の
幼稚園鑑賞用レコードの扱い方が一曲こと
に詳しく述べられている。

幼児の音楽教育ということを少しでも考
えるひとは、教諭であつても保育であつて
も、母親であつても、この書を讀まなけれ
ば音楽教育のことを語る資格はないと言つ
てもいい。あえて保育の仕事にたずさわつ
て居られる方々に廣くすすめたい。